

## 東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
歴史・文化の発掘・発信 郷土愛醸成事業		東区役所企画総務課					
事業目的	事業効果	活動指標	R4	R5	R6		
市民・団体等と行政の協働のもと、次世代を担う子どもを主な対象として、文化・歴史にふれられる各種事業を実施することで、地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進を図る。	区域の歴史・文化の保全や区民の区域に対する関心向上により、郷土愛の醸成が図られる。	子ども絵画展示 展示点数	167	197	297		
		夏季子ども体験・交流活動 実施校区数	—	—	2		
		わくわくスタンプラリー事業 参加人数	—	—	57		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性				
○	地域固有の歴史の発掘・発信、継承、及び区民の文化意識の向上、文化活動の促進には公益性があり、区が実施主体となる必要性があるため、区での実施が妥当である。	○	東区政策会議からの提案・企画を受け事業を実施している。 実施の過程においても、区政策会議構成員はじめ市民・団体等との協働により事業を実施している。	○	子ども絵画展示事業については、公募で募集のあった小学生の絵画297点を南海電鉄の協力のもと鉄道4駅に展示した。 わくわくスタンプラリー事業については、地域の方の対面解説や歴史的資源を特別公開するなど、地域の魅力を活かした事業である。	○	子ども絵画展示については、小学校や放課後児童支援事業者に周知依頼をするなどにより、効率的に事業を実施した。 わくわくスタンプラリー事業については、デジタルスタンプラリーアプリを活用することで、効率的に事業を実施した。
⑤自立発展性	総合評価						
△	当事業は東区政策会議からの提案・企画に基づいた事業であり、地域全体で区域の歴史・文化の保全や区民の区域に対する関心向上が図られる機運が醸成されるまでの間、行政が実施すべき事業である。	○	地域で多くの方が利用する「駅」という空間に子どもたちの絵画作品が展示されたこと、歴史的資源を巡りながら地域の歴史的資源や魅力を再発見するイベントを実施したこと、また、地域の大人との交流機会の周知を図る夏季子ども体験・交流活動の実施は事業の成果であり、子どもたちを軸として文化の裾野が広がり、また歴史を発掘・継承することは意義あることである。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
継続	文化事業についてはこれまで実施してきた絵画展示を発展させ、地域の子どもたちの創作物(絵画等)を地域全体で展示するためにスペースを貸与いただける施設(公共施設・店舗・集会施設など)を開拓する方向性で進める。夏季子ども体験・交流活動などのメンバーからの提案も含め、引き続き政策会議において議論する。 また、東区かるたの活用として、東区民まつりでのかるた体験会の実施やスマホアプリを活用したスタンプラリーの整備などを進める。						